



学童・ダンプ・事業団・トラックのなかまが 神奈川県本部 2019年5.16統一行動！

2019年神奈川県本部の統一行動は5月16日に実施しました。今年の行動も早朝7時30分に川崎市役所前に集合した県本部の仲間17名（伊藤県本部委員長、同高橋書記長、神奈川県南支部8名、川崎学童保育指導員支部6名、鉄道本部神奈川地方本部1名）が川崎市庁舎に出勤する市の職員や通行人に向けた宣伝行動からスタートしました。学童保育とダンプのビラを入れ込んだテッシュ付ビラ800個は約45分で配布しました。



通行人にビラを差し出すなかま



川崎市役所前で宣伝行動を行った県本部の仲間

学童クラブの実態を告発し川崎市の理不尽な対応を変えるよう強く訴えました。

つづくダンプ支部は、公共工事での単価改善、建交労ダンプの使用促進、建退協証紙貼付の徹底、過積載根絶などについて要請を行い午前中の行動を終えました。

その後、昼食休憩をはさんで横浜市内に移動し横浜市と神奈川県に“雇用・失業対策の強化”“高齢者の雇用・就労機会の拡大”について具体的かつ有効な施策を求めました。

行動の最後はトラック部会の要求を中心に神奈川県労働局に要請を行いました。そのなかで労働局は、労働者の権利を無視した（株）三昭運輸の有給休暇の一方的計画付与を合法とした労働基準監督署の判断は正しいとは言い切れず、三昭運輸分会の争議勝利の展望を広げて行動を終了しました。

宣伝行動後は神奈川県南支部1名、ダンプ支部から1名の参加者に加え、19名で川崎学童保育と神奈川ダンプに関わる川崎市に対する要請をおこないました。

川崎市は、独自の全児童施策を放課後児童対策としていることを理由に1000名を超える児童が通う自主運営の学童保育所が国の補助金を受けられない状態となっていて今年の要請にもこれまでと同様の文書回答が事前に送られていました。

このなかで学童保育指導員の仲間は民間



川崎市に要請する建交労神奈川県本部